

日本スケート連盟 2023-24 ノービス課題

ISUでは、ISU Communication No.2562にて、Advanced Novices、Intermediate Novice、Basic Novice
の
課題を定めているが、日本では、この年代の選手の育成を考え、以下のような独自の課題とする。

1、ノービスA 滑走時間 3分 ±10秒

	男 子	女 子
ジャンプ 最大 6	第1ジャンプとして、ループ・ジャンプ、 ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの3種類を含む	
	1つはアクセル・タイプのジャンプを含む ダブルアクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シーケンスの一部としても) 2回まで	
	トリプル、クワドの2種類のみ、コンボ/シーケンスで繰り返し可能 その内クワドは1種類のみ繰り返すことが出来る 単独として繰り返された場合には+REPが付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスは、 ジャンプコンボ1回+ジャンプシーケンス1回 または、ジャンプコンボは2回まで可能	
	ジャンプ・コンボまたはジャンプ・シーケンスのうち 1つだけ3個のジャンプ可能	
スピン(*1) 最大 3	あらゆるタイプのフライング・スピン 1種類の基本姿勢、足換え無し、着氷後最少6回転	
	キャメルまたはシット・スピン	レイバック /サイドウエイズ・リーニング または シットまたはキャメル
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングからの入りは不可、 最少6回転(足換えの場合には最少10回転以上)、 フライング・スピンと異なる基本姿勢で行なうこと	
	スピン・コンビネーション フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最少10回転	
ステップ	氷面を十分に利用したステップ・シーケンス	

(*1)ポジションとして認められるには2回転必要

2、ノービスB 滑走時間 2分30秒 ±10秒

	男 子	女 子
ジャンプ 最大 5	第 1 ジャンプとして、 ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの 2 種類を含む	
	1 つはアクセル・タイプのジャンプを含む ダブルアクセルを含む、いかなるダブルジャンプは (単独でも、コンボ/シーケンスの一部としても) 2 回まで	
	トリプル、クワドの 2 種類のみ、コンボ/シーケンスで繰り返し可能 その内クワドは1種類のみ繰り返すことが出来る 単独として繰り返された場合には + REP が付く	
	ジャンプ・コンボ、ジャンプ・シーケンスは、 ジャンプコンボ1回 + ジャンプシーケンス1回 または、ジャンプコンボは2回まで可能	
	ジャンプ・コンボまたはジャンプ・シーケンスのうち 1 つだけ 3 個のジャンプ可能	
スピン(*1) 最大 3	あらゆるタイプのフライング・スピン 1 種類の基本姿勢、足換え無し、着氷後最少 6 回転	
	キャメルまたはシット・スピン	レイバック /サイドウエイズ・リーニング または シットまたはキャメル
	足換えの回数は任意	足換え無し
	フライングからの入りは不可、 最少 6 回転 (足換えの場合には最少 10 回転以上) 、 フライング・スピンと異なる基本姿勢で行なうこと	
	スピン・コンビネーション フライングからの入りは不可、足換えの回数は任意、最少 10 回転	
コレオグラフィック・シーケンス	形状には制約が無いが、明らかにそれと分かるもの レベルはフィックス、GOE のみで評価される	

(*1)ポジションとして認められるには 2 回転必要

減点について			
減 点 内 容		NvA	NvB
演技時間	演技時間（5秒までの過不足ごとに）	-0.5	-0.5
コスチュームおよび小道具(vote)	プログラム全体に対して	-0.5	-0.5
コスチューム/飾りの一部が氷上に落下	プログラム全体に対して	-0.5	-0.5
演技の中断	10秒を超える中断、11秒から10秒毎に40秒まで	-0.5	-0.5
再滑走許可時の中断	再滑走許可後の中断	-2.5	-2.5
演技開始の遅れ	開始が1～30秒遅れた場合	-0.5	-0.5
転倒	転倒ごとに	-0.5	-0.5
違反の要素	要素違反ごとに	-2.0	-2.0